

元中日・金田新監督が指揮

名古屋経済大 自主性で躍進

プロ野球の中日でプレーし、コーチも務めた金田進さん(63)が4月から新監督に就任した名古屋経済大が、愛知大学野球春季リーグ2部Aで快進撃を続けている。第3週を終え、5勝1敗で堂々の首位。昨秋は5位と低迷したチームをいきなり躍進させ、周囲を驚かせている。

(島田明)

グラウンドには穏やかなまなざしで練習を見詰める金田監督がいた。「大學生は就職もある。これまでは人間性も含めて厳しめに指導してきた。その方針を変えてみようと思って」。昨年までの6年半、名古屋学院大を指揮。立派に社会に送り出すために、熱血指導してきた。学生たちを思っている行動

も、時代の流れか、その厳しさが見えない壁をつくり出していったという。

新天地で重きを置くのは、「自主性」。就任すると、新1年生を除く全部員と面談し、その方針を伝えた。榊原伊織主将を中心に、オープン戦からベンチメンバー、スタメンを決めさせた。公式戦になってもこのやり方は継続している。同主将は「自由とは違う。その分、責任が生じます」。学生たちが真剣に考え、最良を選択している。

技術的な面では、プロ野球での豊富な経験をいかに発揮。バッテリーコーチが長かったからこそ狙い球の指示、捕手への配球のアドバイスなどを射たものがある。監督就任前、中日OBで尊敬する鈴木孝政さんから「良くも悪くも、6年半の経験を生かせるだろ」と背中を押された。その言葉通り、いい部分は残し、悪いと感じた部分は改めた。いきなりの目標とする1部昇格も十分ありえる。



指揮する金田進監督(右)と熊谷翔宇ヘッドコーチ=愛知県犬山市の名古屋経済大で